

# 令和元年度 学校評価説明会

## 学校教育の目的

連続性のある深い学びを通して、  
豊かな心・確かな学力・しなやかな体を育み、  
社会をよりよく生きぬく子どもの育成を目指す。

令和2年2月15日  
10時50分～11時50分

- 1 校長あいさつ
- 2 事務長あいさつ
- 3 学校評価集計結果報告
- 4 質疑応答



学校評価説明会 資料

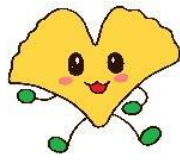
# 令和元年度 学校評価アンケート集計結果

－保護者・児童生徒・教職員－

## 学校教育の目的

連続性のある深い学びを通して、  
豊かな心・確かな学力・しなやかな体を育み、  
社会をよりよく生きぬく子どもの育成を目指す。

令和2年2月15日  
千葉県立千葉聾学校



# 令和元年度 学校評価アンケート まとめ

## 1 アンケートの目的

- (1) 教職員による自己評価と保護者による教育活動に対する評価、関係者評価をとおして、学校運営上の課題を把握し、今後の学校改善に努める。
- (2) 保護者、教職員とも同じ質問内容を設けることで、認識、評価の相違を明確にする。
- (3) 児童生徒による授業アンケートを行い、授業評価及び学習活動へのニーズを明らかにする。

## 2 アンケート実施期間

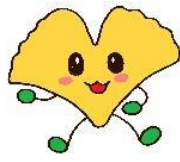
令和元年11月29日(金)～12月13日(金)

## 3 アンケート実施対象者

保護者・教職員・児童生徒(小学部5・6年、中学部、高等部)

## 4 アンケート集計総数

児童生徒	81名(83名配付)	98%回収(昨年度比+15%)
保護者	112名(140名配付)	80%回収(昨年度比-2%)
教職員	116名(116名配付)	100%回収(昨年度比±0%)

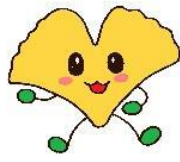


## 集計を終えて

本年度は、学校評価アンケートの3年目となります。  
集計にあたっては、“保護者と教職員”の意識の違い、  
また、昨年度との比較ができるように棒グラフで並べて表示しました。

学校教育目標の達成に向けた今年度の取組と昨年度の反省をもとにした学校改善の成果についての結果として考察します。

自由記述については、いただいた意見・要望について、職員・保護者ともに検討課題、意見、要望等を集約する形で掲載しました。



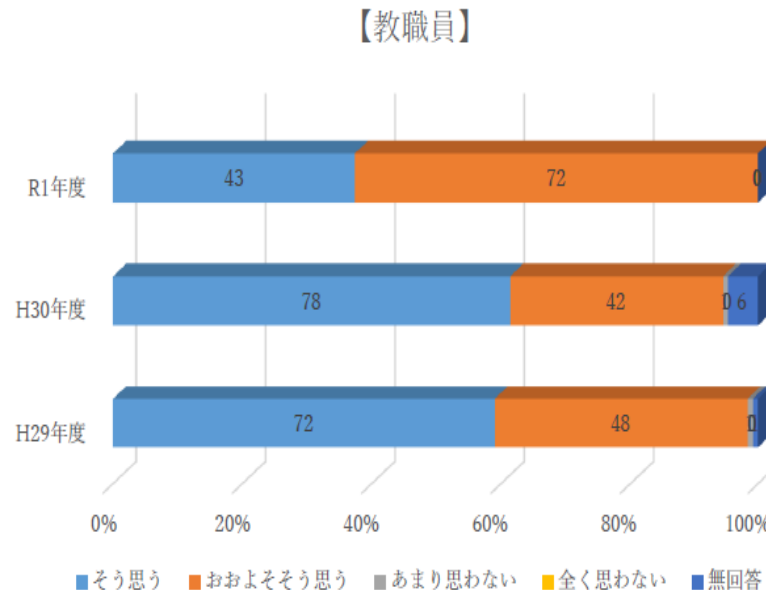
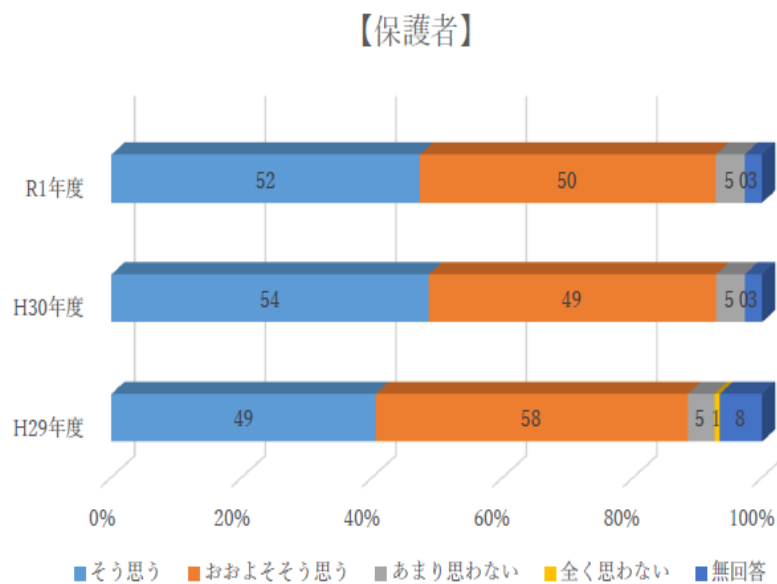
# 評価結果のポイント

<評価が高かった項目について>



## アンケート集計結果1(P13)

13 学校は、集団補聴支援システムや文字放送、教室の三色灯などの整備を行い、聞こえにくさのある幼児児童生徒の様々な様子に配慮した安全・安心な環境づくりに努力している。



**「そう思う」「おおよそそう思うという回答が保護者91%、教職員99%と高評価となっています。**

県内唯一の聴覚障害教育を推進する本校の教育環境について、保護者の方々も教職員も十分に理解し、満足している成果と考えます。

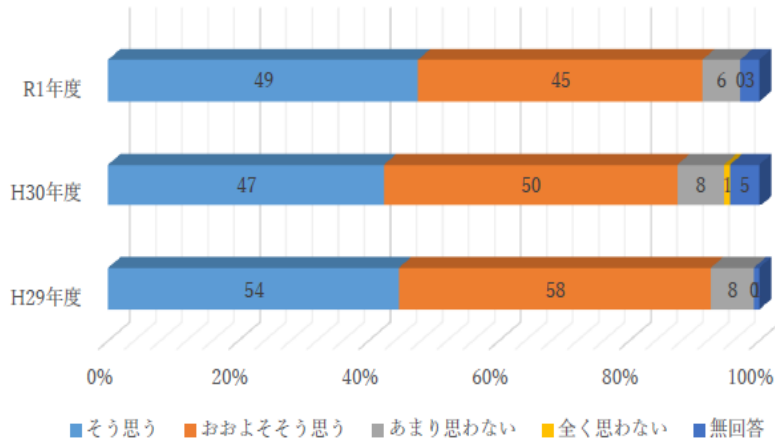
反面、「あまり思わない」「わからない」の回答も見られました。



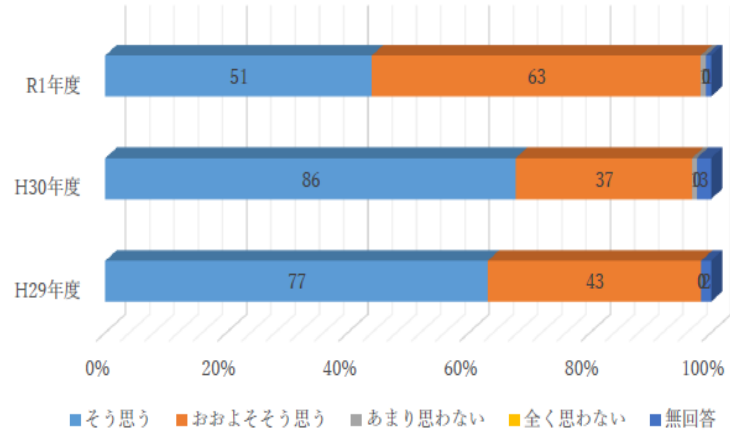
## アンケート集計結果2(P1)

1 学校では、学校教育目標の「連続性のある深い学びを通して、豊かな心・確かな学力、しなやかな体を育み、社会をよりよく生きぬく子どもの育成を目指す」は、本校の幼児児童生徒の教育にふさわしい。

【保護者】



【教職員】



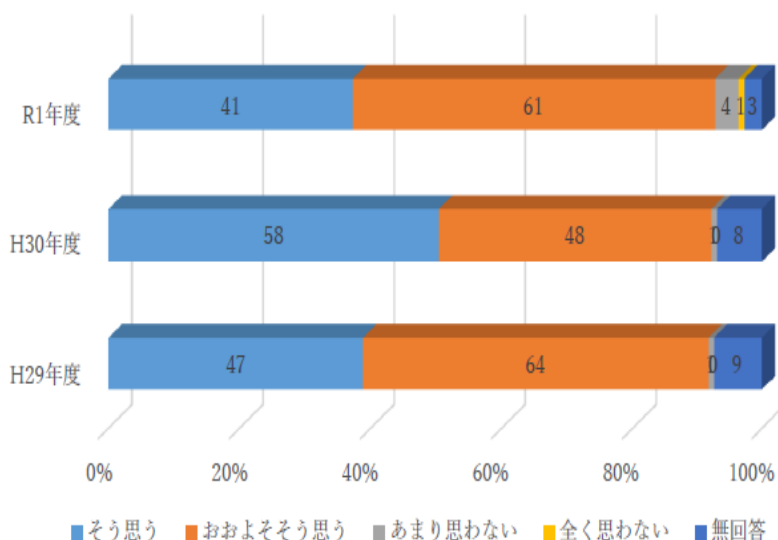
「そう思う」「おおよそそう思う」という回答が保護者89%、教職員97%でした。学校教育目標については、本校の幼児・児童・生徒の育成に合っているということで高評価となっています。しかし、保護者の回答には、「あまり思わない」「まったく思わない」の回答も見られました。教職員には、「わからない」の回答もありました。



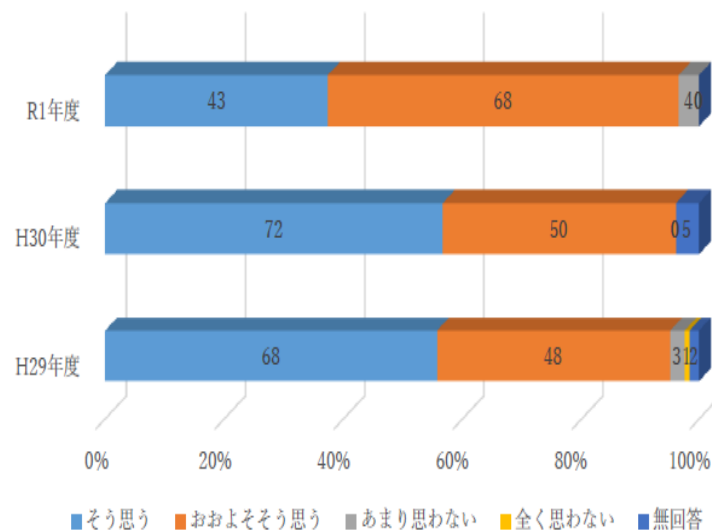
## アンケート集計結果3(P15)

15 学校は、全体での避難訓練(年3回程度)や不審者対応訓練等を行っており、幼児児童生徒の防災意識を高め、災害に備えている。

【保護者】

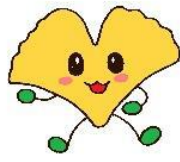


【教職員】

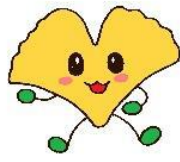


「そう思う」「おおよそそう思う」という回答が保護者90%、教職員95%でした。年間3回の避難訓練や、寄宿舍の不審者対応訓練等、子ども達の防災意識を高める実践について、保護者・教職員ともに90%を超える高い評価となっています。しかし、9月・10月の台風、集中豪雨の対応については、自由記述の中で、マニュアルの見直しが必要との記載が多くあり、改善を進めているところです。



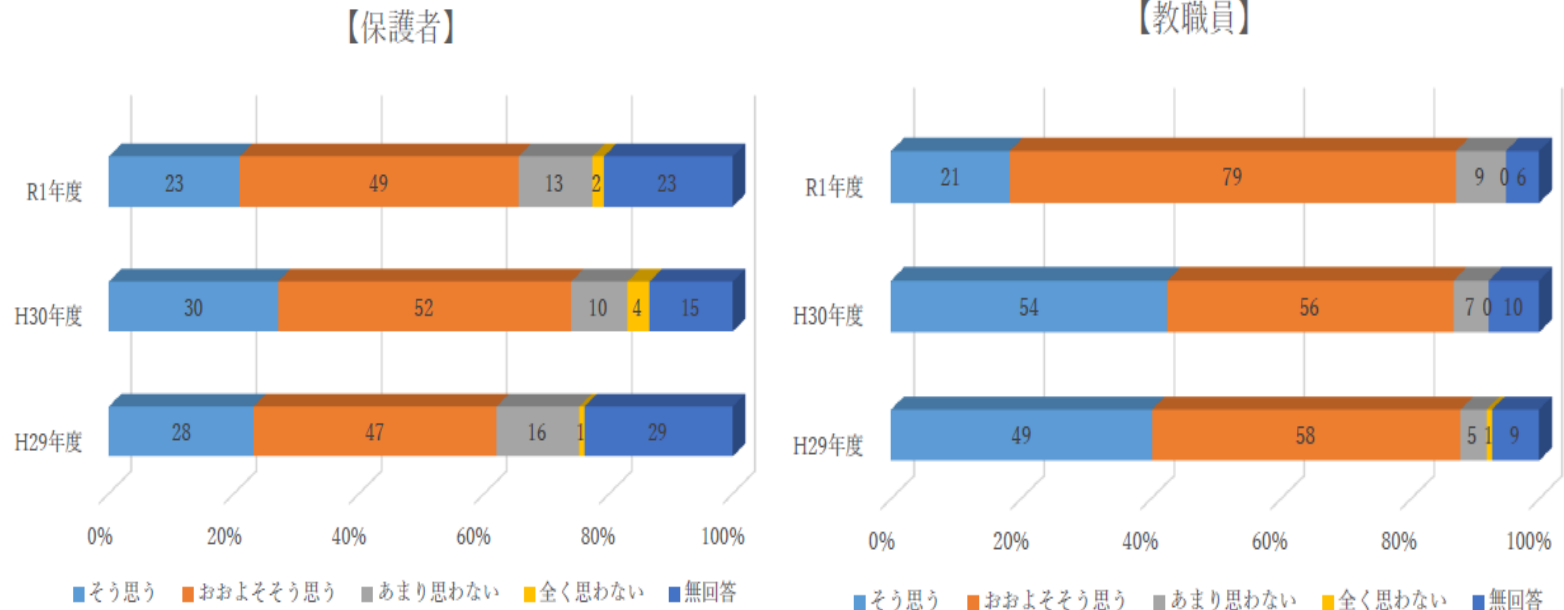


# <評価が低かった項目について>

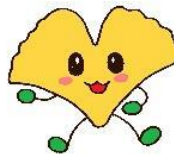


## アンケート集計結果4(P14)

14 学校では、“学校いじめ防止基本方針”によりアンケートや教育相談等を実施しており、いじめの早期発見、未然防止が十分なされている。



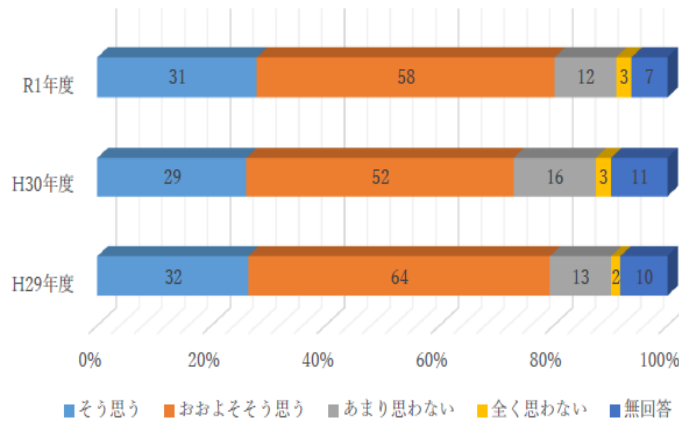
保護者評価「そう思う・おおよそそう思う」が64%で、教職員の評価「そう思う・おおよそそう思う」86%の評価と比べて差が見られました。また、保護者評価には「わからない」の回答が20%あり、学校でのいじめ対策について、十分理解されていない状況がわかりました。今後は、学校便りやHPで周知させていく体制を整えます。



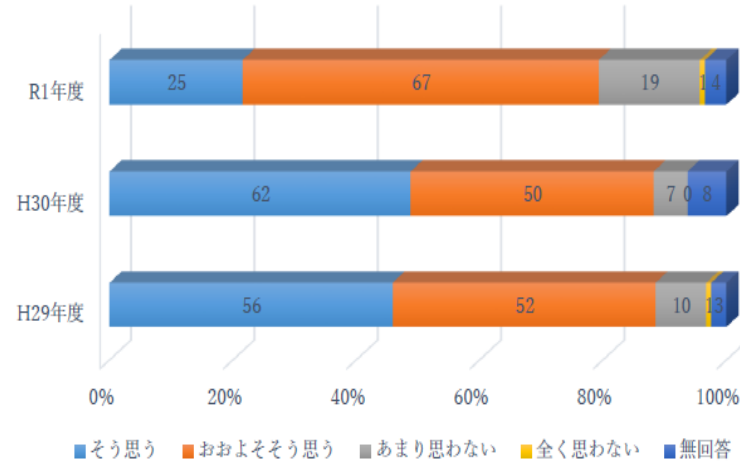
## アンケート集計結果5(P2)

2 学校では、毎月、職員会議や学部会等を行い、各学部間で児童生徒の配慮事項等を共有することで、各学部間で連携協力したチーム千葉聾(教育の充実を図るために、学校や教員の連携はもとより、心理や福祉等の専門スタッフ等と連携・分担する体制を整備し、学校の機能を強化していくこと。この項目の中では、学校内における学部の連携を中心に考えている)として教育を行っている。

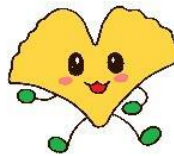
【保護者】



【教職員】



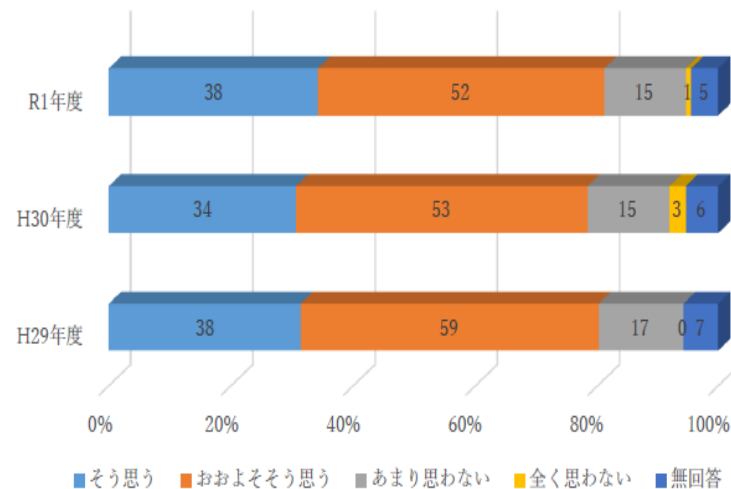
項目2について、保護者評価・教職員評価ともに「そう思う・おおよそそう思う」が78～79%となりました。また、保護者評価では「あまり思わない」10%「全く思わない」2%「わからない」6%との回答も見られました。児童生徒についての情報共有と共通理解を進めていくことや「チーム千葉聾」としての取り組みを、より保護者にも示していくことが必要だと考えます。



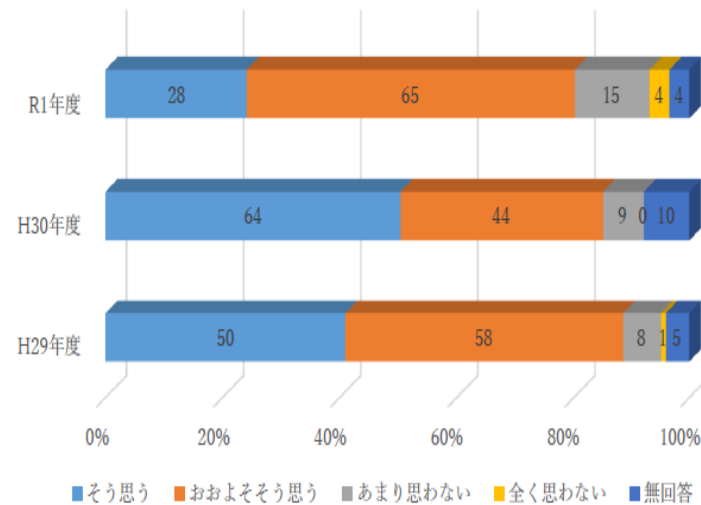
## アンケート集計結果6(P7)

7 全教員が研究授業を実施し、学習における指導力の向上を図っていることは、幼児児童生徒の主体性や可能性を引き出す、学習内容や学習方法を工夫した授業を行うことに役立っている。

【保護者】



【教職員】



保護者・教職員ともに「そう思う・おおよそそう思う」という評価が80%です。しかし「あまり思わない」という評価が、保護者13%、教職員12%となっており、特に教職員の割合が昨年度に比べ多くなっています。研究授業が、普段の授業改善と自身の授業力向上につながっていることを再認識したいと思います。



アンケート集計結果7(P19-24)

## < 寄宿舍について(保護者) >

評価については、すべての項目において肯定的回答が85%以上を越えており、寄宿舍に対する評価は全般に高いといえます。

項目1: 寄宿舍教育の目標 93%

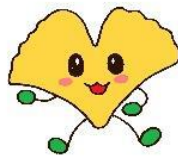
項目2: 情報発信 87%

項目3: 合理的配慮の充実 87%

項目4: 家庭との連携 93%

項目5: 保護者との連絡対応 99%

項目6: 職員の丁寧な言葉遣いや態度 88%



アンケート集計結果8(P19-24)

## <寄宿舎について(保護者)>

項目7:舎生へのキャリア教育 87%

項目8:舎生への道徳教育 93%

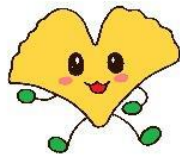
項目9:安全・安心な環境づくり 91%

項目10:避難訓練等災害への備え 93%

項目11:舎生の生活の様子 87%

項目12:寄宿舎「おあしす」 93%

今後も、保護者・担任との情報共有を大切にしながら、丁寧な言葉遣いや態度、思いやりのある豊かな心の育成に向けて寄宿舎としての利点を生かしながら進めていきます。



## アンケート集計結果9(P25)

### 評価結果(児童生徒)について 小学部

問1「学校生活は楽しいか」・・・95%楽しい

問4「友達と仲良くしているか」・・・100%している

問5「困ったこと悩んだこと」・・・ある9% ない91%

問6「相談する方法」・・・知っている52% 知らない48%

問8「おあしす」の励行・・・いつも48% 時々43% あまり9%

児童のほとんどが学校生活に満足している様子がわかりました。  
また、あいさつについても、心がけている様子がわかりました。

課題として、困ったときや悩んだときに、相談する方法を知らない児童が半数程度いるので、あらためて学部集会や学級の朝の会等で、繰り返し指導を行っていく必要があることがわかりました。



## アンケート集計結果10(P26)

### 評価結果(児童生徒)について 中学部

問1「学校生活は楽しいか」・・・97%楽しい

問4「先生はわかりやすく教えているか」・・・94%教えている

問5「困ったこと悩んだこと」・・・ある36% ない64%

問6「相談する方法」・・・知っている64% 知らない36%

問8「おあしす」の励行・・・いつも84% 時々16% あまり0%

生徒のほとんどが学校生活に満足している様子がありました。  
また、あいさつについても、常に心がけている様子がありました。

課題として、困ったときや悩んだときに、相談する方法を知らない生徒が4割程度いるので、個別に指導を行う必要があることがわかりました。





## アンケート集計結果11(P27)

### 評価結果(児童生徒)について 高等部

問1「学校生活は楽しいか」・・・83%楽しい

問4「先生はわかりやすく教えているか」・・・96%教えている

問5「困ったこと悩んだこと」・・・ある29% ない71%

問6「相談する方法」・・・知っている71% 知らない29%

問8「おあしす」の励行・・・いつも63% 時々37% あまり0%

生徒のほとんどは学校生活に満足している様子でしたが、思わない生徒について、個別の相談や見守りが必要であることがわかりました。

また、困ったときや悩んだときに、相談する方法を知らない生徒も3割程度いることがわかりました。担任やまわりの職員からの言葉かけを、これからも行いたいと思います。



## <自由記述について>

保護者、教職員から学校運営の改善につながる具体的な意見や提案を自由記述として記載しました。

学部・学校・分掌係ですぐに対応できること、検討していくことなど意見を取り上げて、次年度につなげて活かしていきたいと思います。

学校評価アンケートへの御協力ありがとうございました。